

令和6年度 山口県立大学 別科助産専攻

一般選抜 「専門科目」

試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

注意事項

- 1 解答は全て解答用紙に記入してください。
- 2 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を高く挙げて監督者に知らせてください。
- 3 不正行為について
 - ① 不正行為については厳正に対処します。
 - ② 不正行為に見えるような行為が見受けられた場合は、監督者が注意します。
 - ③ 不正行為を行った場合は、その時点で受験をとりやめさせ退室させます。
- 4 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

問題 1 次の文章のうち正しいものには○を、誤っているものには×を記入しなさい。

1. 更年期障害の自律神経症状は、交感神経機能の低下による。
2. 努責やくしゃみをしたときに生じる尿失禁は、腹圧性尿失禁である。
3. 妊娠 24 週の妊婦健康診査で経過は順調であると診断された妊婦が、次回に受診する時期は 4 週間後である。
4. 妊娠 33 週の妊婦が、妊婦健康診査時の腹部超音波検査中に気分不良を訴え、顔色不良になった場合、最初に行う対応は体位を右側臥位にすることである。
5. 前置胎盤で起こる出血は痛みを伴わない場合が多い。
6. 成乳は初乳に比べ、蛋白質を多く含み、100ml あたりのエネルギー量が低い。
7. うっ滞性乳腺炎は、産褥 1 週間以内に多く見られる。
8. 妊婦の飲酒によって認められる特徴的な胎児異常は小頭症である
9. 大泉門が閉鎖する時期は 1 歳 6 か月ごろである。
10. 低出生体重児は、正期産の成熟児と比べ、体重当たりの体表面積が小さいため、低体温になりやすい。

問題 2 以下は、月経周期の調節機序についての文章である。①～⑤に当てはまる適切な語句や数字を記入しなさい。

卵巣ホルモンの分泌が低下して月経になると、(①) から分泌される性腺刺激ホルモン放出ホルモンの指令により、(②) から卵胞刺激ホルモンが分泌される。卵胞刺激ホルモンは卵巣を刺激し、発育した卵胞からはエストロゲンが分泌され、子宮内膜が (③) する。卵胞が成熟し、エストロゲンの分泌がピークに達すると、そのフィードバック作用により (④) が大量に分泌され、排卵を促す。その後、受精が起こらなければ (⑤) 週間程度で月経が開始する。

問題 3 以下は産前産後の休業についての文章である。①～⑤に当てはまる適切な語句や数字を記入しなさい。

産前産後の休業は (①) 法で定められており、使用者は、就業中の妊産婦から請求があった場合、産前 (②) 週間以内、多胎の場合は (③) 週間以内の者を就業させてはならない。また、産後 (④) 週間を経過しない女性を就業させてはならない。ただし、産後 (⑤) 週間を経過した女性が請求した場合において、医師が支障がないと認めた業務に就かせることは差し支えない。

問題 4 以下は乳児家庭全戸訪問事業についての文章である。①～②に当てはまる適切な語句や数字を記入しなさい。

乳児家庭全戸訪問事業は（ ① ）法で定められており、生後（ ② ）か月までの乳児がいるすべての家庭に助産師や保健師、子育て経験者などが訪問を行う事業である。

問題 5 妊娠中の食事について適切なのはどれか。1つ選びなさい。

1. 鉄の付加量は授乳期よりも少ない。
2. 葉酸は妊娠初期の摂取が重要である。
3. 塩分摂取量は 10 g/日 を目標とする。
4. カルシウムは 20 歳代女性の平均摂取量の約 3 倍の摂取が望ましい。
5. エネルギーは妊娠中期の付加量が最も多い。

問題 6 非妊時と比較した妊娠末期の母体の生理的変化で正しいのはどれか。1つ選びなさい。

1. 基礎代謝率は減少する。
2. 呼吸数は減少する。
3. 甲状腺ホルモンの分泌は減少する。
4. 循環血液量は増加する。

問題 7 妊娠 16 週の状況で正しいのはどれか。2つ選びなさい。

1. 超音波ドプラ法で胎児心音を聴取できる。
2. 初産婦は胎動を感じる。
3. 胎盤が完成している。
4. 胎児の体重は約 500 g である。
5. 基礎体温は高温相を維持している。

問題 8 妊娠高血圧症候群について正しいのはどれか。2つ選びなさい。

1. 有酸素運動で軽快する。
2. 肥満妊婦に生じやすい。
3. 高蛋白質食で軽快する。
4. 病型の 1 つとして子癇がある。
5. 胎児の健康状態への影響はない。

問題 9 妊娠に伴う身体の変化で正しいのはどれか。2つ選びなさい。

1. 皮膚の掻痒感の増加
2. 腸蠕動の亢進
3. 膣分泌物の減少
4. 尿中への糖の排泄増加
5. 拡張期血圧の上昇

次の文を読み問題 10～12 の問いに答えなさい。

32歳の初産婦。会社員。妊娠8週0日。身長160cm、体重50kg（非妊時53kg）。「食べると気持ちが悪くなるので、妊娠前のように食事がとれない。3食をとるようにがんばっているが、よく食べられたと思ったときに限ってその後に吐いてしまう」と話す。

問題 10 妊婦の訴えに対するアセスメントに必要な情報で優先度が高いのはどれか。1つ選びなさい。

1. 腹囲
2. Hb 値
3. 尿ケトン体
4. 排便状況

問題 11 食事の摂取方法に関する説明で適切なのはどれか。1つ選びなさい。

1. 少量ずつ食べる。
2. 水分摂取は控える。
3. 糖분을多くとる。
4. 時間を決めて食べる。
5. サプリメントをとる。

問題 12 妊娠20週0日。「気分はとても良いです。元気になったら、夫は家事をしてくれなくなって、私が妊娠しているのを忘れているかのようです。私もこのお腹に赤ちゃんがいるって、まだ信じられない感じがします」と話す。対応で最も適切なのはどれか。1つ選びなさい。

1. 夫の立会い分娩を提案する。
2. 男性が父親としての役割を意識するのは出産後であることを説明する。
3. 夫とともに出産準備教室に参加することを勧める。
4. 夫に家事を手伝うように看護師から伝える。

問題 13 正常の分娩経過で正しいのはどれか。1つ選びなさい。

1. 陣痛周期が 10 分以内になった時点分娩開始にする。
2. 第 1 頭位では右臍棘線上で胎児心音を聴取する。
3. 分娩第 2 期は子宮口全開大から胎盤が娩出するまでである。
4. 排臨は胎児先進部が陰裂間に常に見えている状態である。

問題 14 正常な胎児の分娩機転について正しいのはどれか。1つ選びなさい。

1. 分娩開始時、胎児の背中は母体の背側にある。
2. 後頭部が先進する。
3. 胎児の顔は母体の腹側を向いて娩出される。
4. 肩甲横径が骨盤の横径に一致する方向で娩出される

問題 15 正常に経過している分娩第 1 期の産婦への説明で適切なのはどれか。1つ選びなさい。

1. 「食事は摂らないようにしてください」
2. 「2, 3 時間に 1 回は排尿をしてください」
3. 「ベッド上で安静にしてください」
4. 「眠気を感じても眠らないようにしてください」

問題 16 23 歳の初産婦。妊娠 40 週 2 日。陣痛間欠 3 分、発作 50 秒。子宮口 9 cm 開大、展退度 80%、Station ±0。肛門圧迫感はない。胎児心拍モニタリングは reassuring である。全身に力が入り、陣痛発作のたびに大声を上げ、このような陣痛がいつまで続くのかと興奮している。このときの対応で最も適切なのはどれか。1つ選びなさい。

1. 現在の状況が続くと伝える。
2. どのような分娩にしたいか本人の考えを確認する。
3. 産痛がつらくても大声を出さないよう声をかける。
4. 産婦が力を抜けるように呼吸をリードする。

問題 17 35 歳の初産婦。妊娠 38 週 0 日。昨日午後 8 時に陣痛が開始し、本日の午前 1 時に入院した。午後 1 時に羊水流出感があり、診察で破水と子宮口全開大が確認された。午後 3 時 30 分に児娩出、午後 3 時 45 分に胎盤娩出となった。分娩時出血量は 600ml であった。分娩経過のアセスメントで正しいのはどれか。1つ選びなさい。

1. 早産である。
2. 早期破水である。
3. 分娩時出血量は正常範囲を逸脱している。
4. 分娩所要時間は 19 時間 30 分である。

問題 18 Aさん（40 歳、初産婦）は妊娠経過に異常がなく、妊娠 41 週に陣痛発来した。分娩中に臍帯圧迫による胎児機能不全を認めたため緊急帝王切開になった。麻酔は、脊椎麻酔に硬膜外麻酔を併用した。出生した児の体重は 3,150g、アプガースコアは 1 分後 7 点、5 分後 9 点であった。Aさんは、術中の経過に異常はなく、出血量 400ml。術直後の検査で Hb11.5 g/dl であった。Aさんの術後合併症で最も注意すべきなのはどれか。1 つ選びなさい。

1. 深部静脈血栓症（DVT）
2. 貧血
3. 肺水腫
4. 術後せん妄

問題 19 産科危機的出血への対応ガイドラインに示されている産科危機的出血の定義に当てはまるのはどれか。2 つ選びなさい。

1. 経膈分娩後 24 時間以内の出血量 500ml
2. ショックインデックス 1.5
3. 産科 DIC スコア 6 点
4. Hb 値 7.0g/dl
5. 出血の持続

問題 20 正常分娩した産褥 2 日の褥婦の状態で、順調な経過であると判断できるのはどれか。2 つ選びなさい。

1. 体温が 37.6℃である。
2. 悪露に凝血塊が混じる。
3. 後陣痛がある。
4. 乳房の緊満感がある。
5. 妊娠中と比べ 1 日の尿量が減少する。

問題 21 28 歳の初産婦。妊娠 39 週 0 日、午後 8 時 15 分に正常分娩した。分娩所要時間は 12 時間 15 分であった。産褥 1 日における母親役割の獲得への援助で適切なのはどれか。2 つ選びなさい。

1. 身体の疲労回復を促す。
2. 児の沐浴について指導する。
3. 分娩の振り返りを行う。
4. 育児分担について夫と話し合うことを促す。
5. 母乳不足の見分け方について説明する。

次の文を読み問題 22～23 の問いに答えなさい。

A さん（36 歳、2 回経産婦）は正常な妊娠経過で、妊娠 37 週 2 日に 2,600g の児を正常分娩した。分娩の所要時間は 3 時間 40 分、出血量は 250ml、会陰裂傷はない。

問題 22 産褥 1 日目、体温 37.3℃、脈拍 70/分、血圧 104/68 mmHg である。子宮底の位置は臍下 2 横指、子宮は硬く触れ、血性悪露が中等量みられる。A さんは「授乳後におなかが痛くなりました」と言う。A さんへの対応で適切なのはどれか。1 つ選びなさい。

1. 全粥食への変更
2. 授乳の中止
3. 下腹部の冷罨法
4. 経過観察

問題 23 産褥 5 日目。A さんは「この子は上の子たちに比べて小さく、母乳を吸う力も弱く、授乳後に母乳が残った感じがします。授乳回数は 1 日 10 回ぐらいで、夜中は 2 回ぐらい授乳しています。今後どうしたらよいでしょう」と話す。児の体重は 2,530g である。A さんへの対応で適切なのはどれか。1 つ選びなさい。

1. 「おっぱいがすっきりするまで授乳後に毎回搾りましょう」
2. 「授乳を 3 時間ごとにしましょう」
3. 「このままの授乳で様子をみましょう」
4. 「母乳を飲ませた後にミルクを飲ませましょう」

次の文を読み問題 24～25 の問いに答えなさい。

A さん（35 歳、経産婦）は、妊娠中に妊娠糖尿病（gestational diabetes mellitus）と診断され、食事療法を行っていた。A さんは、妊娠 39 週 3 日に 3,500g の児を自然分娩した。分娩の所要時間は 2 時間 45 分、出血量は 450ml、第 1 度会陰裂傷のため縫合術を受けた。児の Apgar（アプガー）スコアは 1 分後 8 点、5 分後 9 点であった。

問題 24 生後 1 時間。A さんの児は、体温 36.8℃、心拍数 150 /分、呼吸数 56 /分である。呼吸は不規則であるが陥没呼吸や呻吟はみられない。四肢に軽度のチアノーゼがみられる。児への対応で最も優先すべきなのはどれか。1 つ選びなさい。

1. 口腔内の吸引
2. 血糖値の測定
3. 保育器への収容
4. 沐浴

問題 25 産褥 4 日。A さんの血糖は、食前 80 mg/dl で、食後 2 時間には 110 mg/dl であった。児には 2 時間ごとに母乳を与えており、退院後も母乳育児を希望している。看護師は A さんから「これからはどのように血糖コントロールをしていくことになりますか」と質問された。A さんへの説明で適切なのはどれか。1 つ選びなさい。

1. 自己血糖測定を生涯継続していく必要がある。
2. 産後 6 週頃にブドウ糖負荷試験を受ける必要がある。
3. 必要エネルギー量は非妊時と同等である。
4. インスリンによる血糖コントロールが必要になる。

問題 26 A さん(38 歳、初産婦)は、妊娠 38 週 3 日に 2,900g の女児を正常分娩した。出産前は、A さんは夫と 2 人で暮らしていた。引っ越して 3 か月であり、周囲に親しい知り合いや友人はまだいない。看護師はベッドサイドの椅子に座り、A さんから育児について分からないことが多いという話を聞いた。産褥 5 日。A さんは「少しずつ育児ができるようになってよかったですが、自宅での育児は不安です」と話している。看護師の対応で最も適切なのはどれか。1 つ選びなさい。

1. 新生児訪問の時期を早めるよう市町村保健師に依頼する。
2. 子育てをしている親の会に退院直後から参加することを勧める。
3. 児童相談所に連絡する。
4. 保育所の利用を勧める。

問題 27 A さん(32 歳、経産婦)は、妊娠 38 週 0 日に自然分娩にて 3,150g の児を出産した。児のアプガースコアは 1 分後、5 分後ともに 9 点であり、羊水混濁はなかった。出生 3 時間後の児の状態は、体温 36.8℃、心拍数 145/分、呼吸数 80/分で、四肢に軽度のチアノーゼが見られる。児の状態と考えられるのはどれか。1 つ選びなさい。

1. 無呼吸発作
2. 新生児一過性多呼吸
3. 呼吸窮迫症候群
4. 胎便吸引症候群

問題 28 離乳について適切なのはどれか。1 つ選びなさい。

1. 母乳や人工乳を飲まなくなった状態を離乳の完了という。
2. 離乳を開始して 1 か月を過ぎたころから 1 日 2 回食とする。
3. 離乳の開始時期は生後 3 か月ころが適切である。
4. 離乳の開始前に果汁を与える必要がある。

問題 29 先天性疾患で正しいのはどれか。1つ選びなさい。

1. ダウン症候群は13番染色体のトリソミーである。
2. 近親婚はターナー症候群の発生頻度を高くする。
3. 口唇口蓋裂は単一遺伝疾患である。
4. フェニルケトン尿症は遺伝病である。

問題 30 乳児の心拍測定について正しいのはどれか。2つ選びなさい。

1. 聴診ではI音とII音で2心拍となる。
2. 心拍数110/分は正常である。
3. 聴診器が接触した際の冷感による心拍数の変動に気をつける。
4. バスタオルで体幹および四肢を固定して測定する。
5. 呼吸周期に関連した心拍リズムの不整は異常である。

次の文を読み問題31～33の問いに答えなさい。

生後1日の女児。在胎39週5日、正常分娩で出生した。出生時体重3,300g。今朝の観察では体重3,150g。体温37.0℃。呼吸数50/分。心拍数140/分。顔面に少量の点状出血、少量の性器出血と暗緑色の便が多量に見られる。

問題 31 経過のアセスメントで正しいのはどれか。2つ選びなさい。

1. 体重減少は生理的範囲内である。
2. 体温は正常範囲である。
3. 呼吸に異常がみられる。
4. 出血傾向がみられる。
5. 便はタール便である。

問題 32 生後3日。体重3,100g。体温37.2℃。呼吸数32/分。心拍数130/分。顔面から胸にかけて皮膚の黄染がみられる。血清総ビリルビン9mg/dl。排尿6回、排便3回。母子同室で母乳のみを哺乳している。母親は「赤ちゃんの皮膚が昨日よりも黄色くなってきたようです」と言う。対応で適切なのはどれか。1つ選びなさい。

1. 「母乳の量が足りないかもしれませんね」
2. 「母乳による黄疸かもしれませんね」
3. 「正常な範囲の黄疸ですよ」
4. 「新生児室で経過をみましょう」

問題 33 生後 5 日。体重 3,150 g。血清総ビリルビン 12 mg/dl。排尿 8 回、排便 5 回。白色の眼脂が少量見られるが眼瞼結膜の充血はない。母乳のみを哺乳している。翌日、退院を予定している。必要な処置はどれか。1 つ選びなさい。

1. 抗菌薬の点眼
2. 身長測定
3. ビタミン K の投与
4. 光線療法

問題は以上です。